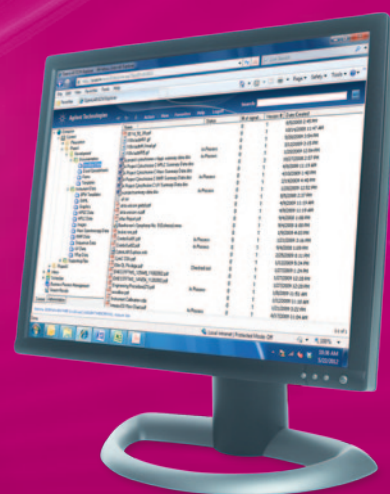


Agilent OpenLAB CDS ChemStation エディション

Rev. C.01.07

The Measure of Confidence



Agilent Technologies

Agilent OpenLAB CDS ChemStation エディション

OpenLAB CDS ChemStation は、次世代のクロマトグラフィーデータシステムソフトウェアです。業界標準のオープンで拡張可能かつ最先端アーキテクチャをベースにしています。迅速かつ柔軟性に富むデータ取り込み、データ処理、自由にカスタマイズ可能なインテリジェントレポート機能を有しています。また、ハイレベルな診断機能を提供する Lab Advisor、メンテナンスの全ての工程や必要部品の適切な購入時期がわかるメンテナンス・ウィザード機能も搭載しています。小規模な Secure Workstation 及び Data Store から大規模なサーバーシステムの OpenLAB ECM まで、お客様のデータ管理に対する要望に合わせたシステム構築を行うことが可能です。



Agilent OpenLAB CDS ChemStation のメリット

ラボ管理者のメリット

- ・ 分析装置を完全にコントロールすることにより装置の稼働時間を増やし、どこからでも装置の最適化を行うことが可能。
- ・ LC、GC、LC/MS、CE を制御し、使用方法も簡単。
- ・ 高度なデータ解析とレポートができ、生産性が向上。
- ・ ネットワーク化してデータを集中管理すれば、時間を節約することが可能。
- ・ データ損失のリスクを低減し、セキュリティ機能も万全。

分析者のメリット

- ・ LC、GC、LC/MS、CE のコントロールが可能。
- ・ レビュー、再解析、レポートは手間がかからず、最良のワークフローをサポート。
- ・ レポートテンプレートの作成が簡単で、今までよりも速くレポートを作成。

IT 管理者のメリット

- ・ ネットワーク化してデータを集中管理すれば、手間なくコストを削減可能。
- ・ ライセンス発行、ソフトウェアアップデート、データのリカバリとバックアップを簡略化。
- ・ データとメソッドを集中管理することにより、データ損失のリスクを低減。
- ・ 最新の OS に、いつでも対応。

目次

OpenLAB CDS ChemStation エディション C バージョンの特徴	3
OpenLAB CDS ChemStation エディション C バージョンの新機能 (Rev. C.01.07)	4
OpenLAB CDS ChemStation の便利な機能	8
OpenLAB CDS ChemStation をパワーアップさせるオプションソフト	10
OpenLAB CDS ChemStation をより使いやすくするツール	12
ネットワーク化に対応する OpenLAB 製品群	14
OpenLAB CDS ChemStation 以前のバージョンとの比較	裏表紙
OpenLAB CDS ChemStation エディション PC 推奨スペック	裏表紙

OpenLAB CDS ChemStation エディション C バージョンの特徴

・ Windows 7 および 8.1 の 64 bit 対応

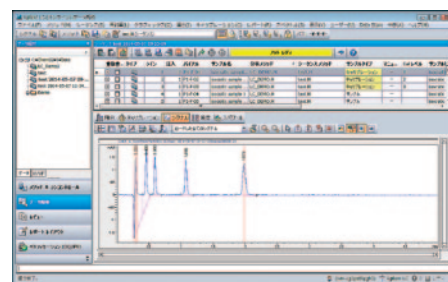
32bit OS では得られない抜群の操作性と解析スピードが実現します。64bit OS により、ストレスのないスムーズなオペレーションで、生産性の高いデータ収集 / データ処理が行えます。OS と親和性の高い新アーキテクチャを採用することにより、エラー発生頻度の減少、通信の改善など、安定性が大幅向上し、ダウンタイムが最小化されます。

・ 旧バージョンの ChemStation から OpenLAB CDS への容易なアップグレード

旧バージョンの ChemStation で取得したデータは、新バージョンの OpenLAB CDS ChemStation でも読み込み可能です。メソッド作成等の操作、及び画面構成に関しても旧バージョンの ChemStation ユーザーが違和感なく新バージョンの OpenLAB CDS ChemStation を使用して頂けるようになっています。

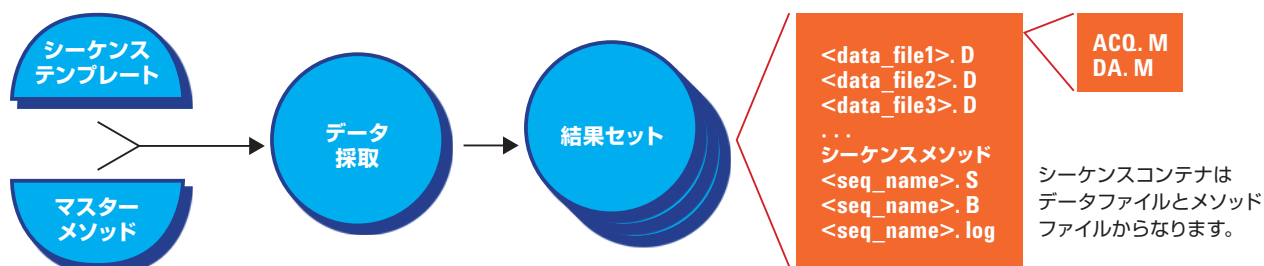
・ ユーザーインターフェースの大幅向上

ツリービューにより多検体の閲覧、解析が迅速に行えます。以前はシーケンスレポートを出力する際に特別な手順が必要でしたが、ワンクリックでシーケンス解析、及びシーケンスレポートの出力が可能です。また、インテリジェントレポートを使用することで、自由にレポートの内容をカスタマイズすることが可能です。



・ メソッド、データの管理及び上書き防止 & 結果セット

この機能により、シーケンスで収集したデータと使用したメソッドを結果セットで一括して管理することが可能となります。データ収集に利用したメソッドとデータのリンクが明確となり、データの上書きを防止することもできます。また、マニュアル積分の条件もデータごとに保存可能です。

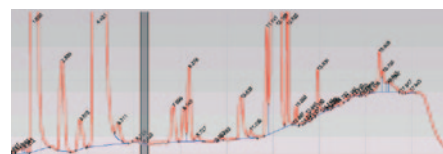


・ ロングファイル名をサポート

メソッド、データ、シーケンスで長いファイル名（最大半角 40 文字）を使用できます。また、サンプル情報のサンプル名も最大 40 文字まで入力可能です。

・ 積分結果の正確性向上 & 新積分パラメータ

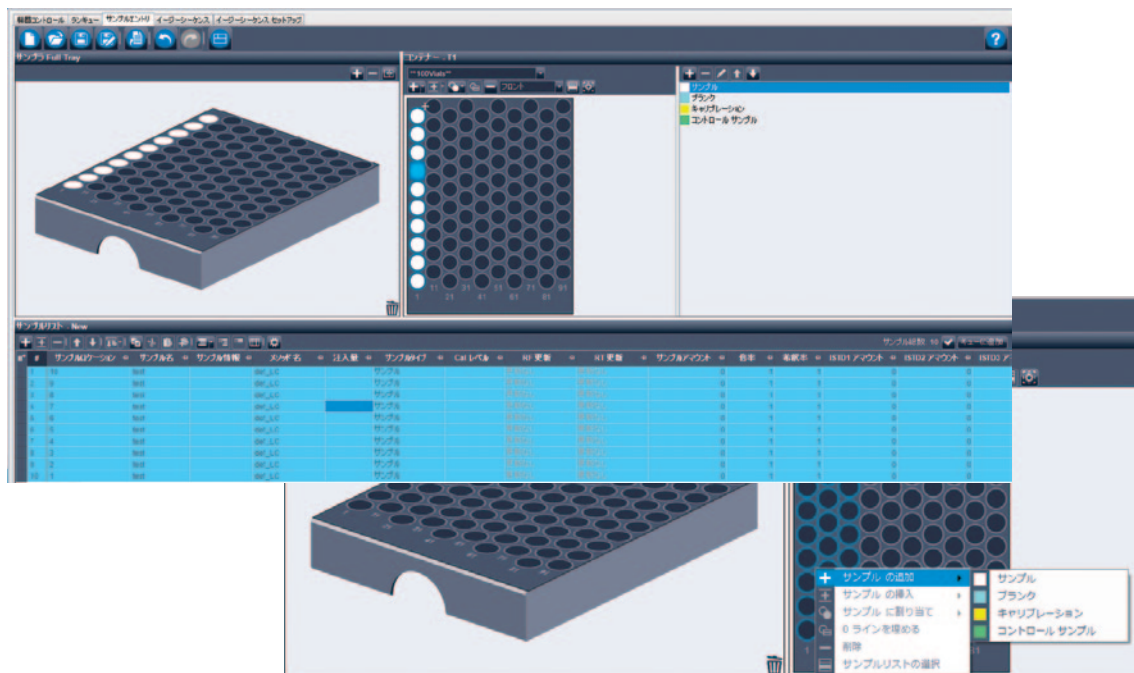
新しいベースライン補正積分アルゴリズムにより、ノイズやドリフトのあるピークのベースライン処理が従来よりさらに向上し、複雑なクロマトグラムの積分条件検討も簡単に行えます。



OpenLAB CDS ChemStation エディションの新機能 (Rev. C.01.07)

・ LC のオートサンプラーとシーケンステーブルのグラフィック・連動性が向上

今まで手入力していたシーケンステーブルへのサンプルの入力が、オートサンプラーのグラフィックを操作するだけで可能になります。使用するサンプルトレイ上で実際のサンプルトレイと同じ位置をクリックするだけで、シーケンステーブルにサンプルを登録できます。また、この画面上でメソッド、キャリブレーションレベル等も設定可能です。



・ シーケンスの監査証跡機能が追加

今までの OpenLAB CDS ChemStation ではメソッドの監査証跡が記録可能でしたが、新しい OpenLAB CDS ChemStation では分析後のシーケンスの監査証跡も記録されます。例えば分析後、解析メソッド、シーケンスサマリレポート、カスタムパラメータ等のシーケンスの内容を変更した際、変更履歴が記録されます。

時間	ユーザー	説明	理由
2015/03/03 18:3...	システム (システム)	ライン 5 (5, "test005"): メソッド名を "DemoCali" から "test" へ変更しました。	test
2015/03/03 18:3...	システム (システム)	ライン 4 (4, "test004"): メソッド名を "DemoCali" から "test" へ変更しました。	test
2015/03/03 18:3...	システム (システム)	ライン 3 (3, "test003"): メソッド名を "DemoCali" から "test" へ変更しました。	test
2015/03/03 18:3...	システム (システム)	ライン 2 (2, "test002"): メソッド名を "DemoCali" から "test" へ変更しました。	test
2015/03/03 18:3...	システム (システム)	ライン 1 (1, "test001"): メソッド名を "DemoCali" から "test" へ変更しました。	test
2015/03/03 18:3...	システム (システム)	ライン 5 (5, "test005"): メソッド名を "test" から "DemoCali" へ変更しました。	test
2015/03/03 18:3...	システム (システム)	ライン 4 (4, "test004"): メソッド名を "test" から "DemoCali" へ変更しました。	test
2015/03/03 18:3...	システム (システム)	ライン 3 (3, "test003"): メソッド名を "test" から "DemoCali" へ変更しました。	test
2015/03/03 18:3...	システム (システム)	ライン 2 (2, "test002"): メソッド名を "test" から "DemoCali" へ変更しました。	test
2015/03/03 18:3...	システム (システム)	ライン 1 (1, "test001"): メソッド名を "test" から "DemoCali" へ変更しました。	test
2015/03/03 18:3...	システム (システム)	シーケンスサマリ: シーケンスサマリレポートの印刷は "はい" から "いいえ" に変更されました。	test
2015/03/03 18:3...	システム (システム)	シーケンスサマリレポートの出力先: サマリレポート名は "" から "IRReport" に変更されました。	test
2015/03/03 18:3...	システム (システム)	シーケンスサマリ: インテリジェントレポート テンプレートは "" から "SequenceSummary_Standard.rdl" に...	test
2015/03/03 18:3...	システム (システム)	シーケンスサマリレポート: 出力中は "クラシックレポートを使用" から "インテリジェントレポートを使用" に変更...	test
2015/03/03 18:3...	システム (システム)	シーケンスサマリ: シーケンスサマリレポートの印刷は "いいえ" から "はい" に変更されました。	test
2015/03/03 18:2...	システム (システム)	このシーケンスの監査証跡は有効にされました。	

印刷...

閉じる

OpenLAB CDS ChemStation エディションの新機能 (Rev. C.01.07)

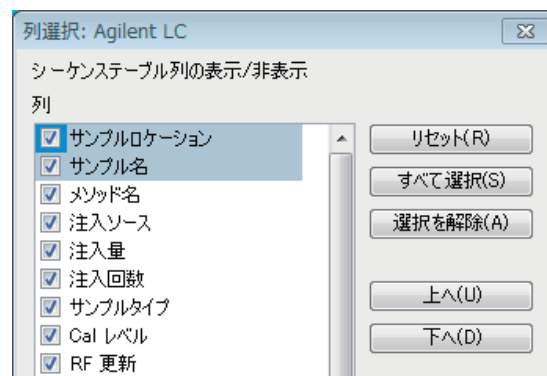
・シーケンスキュー機能

シーケンス実行中に、次に実行させたいシーケンスをキューに保存することで、シーケンスの連続実行が可能です。実行中のシーケンスの終了を待たずに、次に実行したいシーケンスを登録するだけで、無人でのシーケンス連続実行が可能となり、生産性を飛躍的にアップさせることができます。また、キューに保存したシーケンスの優先順位を変更したり、削除することも可能で、より自由度の高い連続分析が行えます。



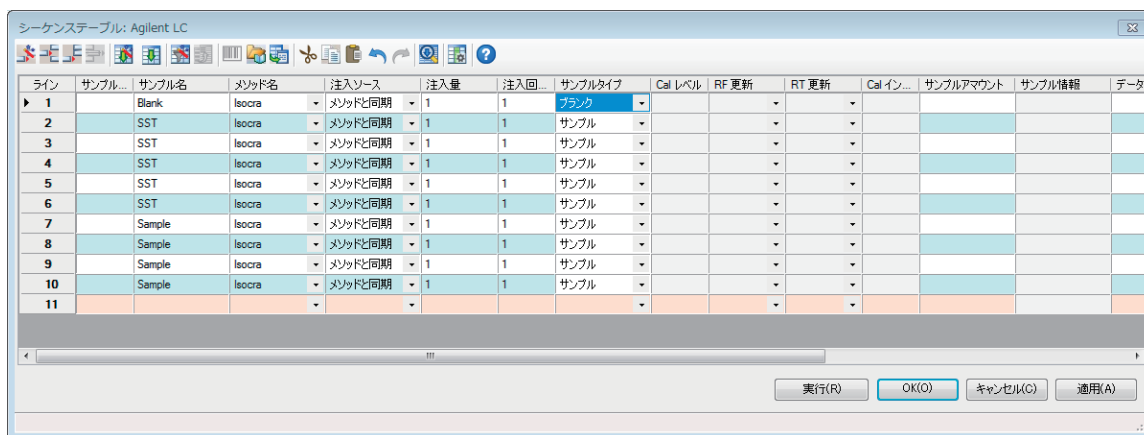
・シーケンステーブルの自由なコンフィグレーション

シーケンステーブルをユーザーにて自在にコンフィグ可能になりました。必要な項目だけを表示させることができます。



・使い勝手が飛躍的に向上したシーケンステーブル

行の追加やコピー & ペーストが自由自在。機能はアイコンで統一。エクセルからシーケンステーブルにコピー & ペーストも可能です。さらにシーケンステーブルからエクセルへのコピー & ペーストも OK。シーケンス設定が、より簡単になりました。



・シーケンスに任意のパラメータを追加可能

今までシーケンステーブルの項目は固定の項目を使用していたが、新バージョンの OpenLAB CDS ChemStation では、カスタムで項目を追加できるようになりました。そのため、今まで入力することが出来なかった項目も入力可能になります。また、ここで入力した数値・テキストはインテリジェントレポートで表示させることが可能です。

例えば、エクセル等で計算の際に使用している係数などをカスタムパラメータとして入力しておけば、インテリジェントレポート上で計算後の値をレポートに表示させることができます。

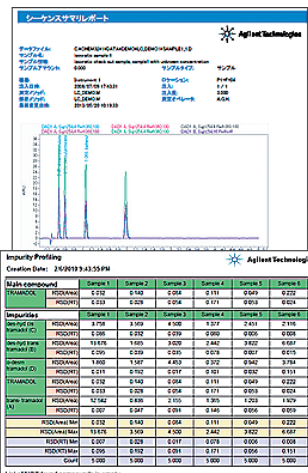
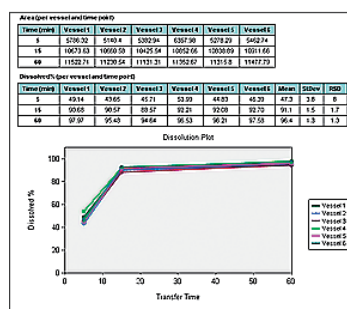


OpenLAB CDS ChemStation エディションの新機能 (Rev. C.01.07)

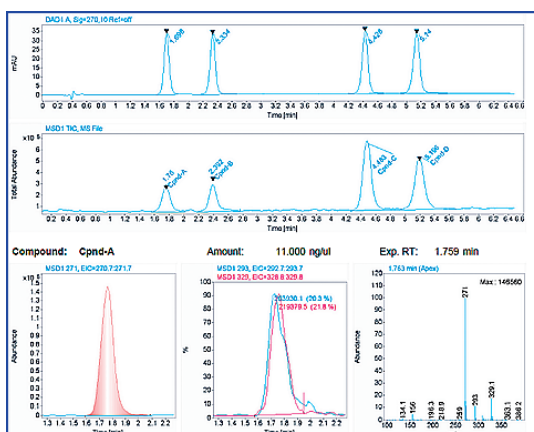
・インテリジェントレポート機能

レポートフォーマットを自由にカスタマイズ、表計算も可能なインテリジェントレポート機能を搭載しました。そのため、お望みのレポートフォーマットを自由自在に簡単に作成することができます。文字のフォントや色、値の桁数等も自由に変更可能です。カスタマイズした変更履歴も残せます。作成したレポートは、データ採取時に自動で PDF・エクセル化して保存することも可能です。また、平均や標準偏差などの統計関数も、チェック1つで簡単に追加可能です。エクセルへの転記、再計算が不要になります。

日本語対応、マルチクロマト自動表示、
グラフ・計算式挿入・カラフルレポート可能



DAD、LC/MS (SQ) のクロマトやスペクトルを1枚のレポートにまとめることができます。薬局方 (EP/USP/JP) 対応レポートも自由自在に出力できます。



シーケンスサマリレポート、シーケンステーブルや分析条件のレポートもコンパクトに出力可能です。



分析条件も不要部分を削除してコンパクトに印刷できます。

Acquisition Method

Agilent 1200 Binary Pump SL 1

Control

Column Flow : 1.500 ml/min
Stoptime : 5.00 min
Posttime : Off

Solvents

Solvent A 1 : 30.0 %(H2O-)
Solvent B 1 : 70.0 %(ACN-)

Agilent 1200 High Performance Autosampler SL 1

Injection

Injection Volume : 1.0 µl
Injection Mode : Standard

Agilent 1200 Column Thermostat SL 1

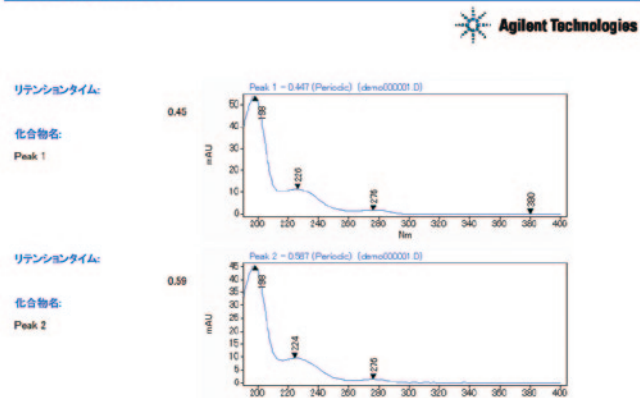
Column Switching Valve : Position1

Temperature settings

Left temperature : 40.0° C
Right temperature : Same as left
Enable analysis : When Temp. is within setpoint +/- 0.8° C
Store left temperature : Yes
Store right temperature : No

λ max や λ min も簡単に表示できます。

シングル注入レポート



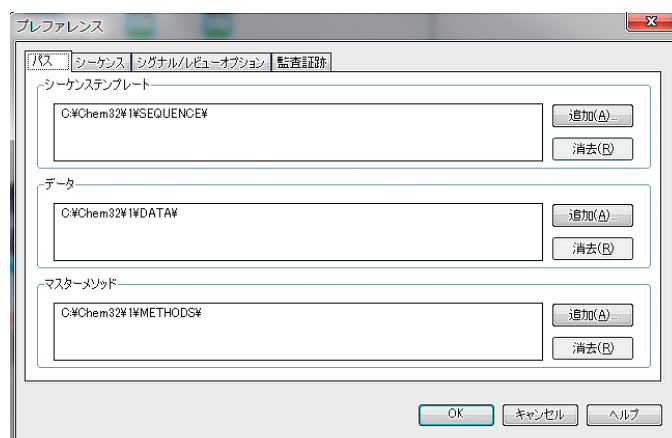
OpenLAB CDS ChemStation エディションの新機能 (Rev. C.01.07)

・多言語対応ライセンス (Administered License)

英語 ChemStation から日本語 ChemStation、又は日本語 ChemStation から英語 ChemStation へのライセンスアップグレードが可能になりました。

・メソッド、データ、シーケンスのパスを自在に変更可能

従来の ChemStation ではできなかったメソッド、データ、シーケンスのパスを自在に変更できるようになりました。複数のパスを登録することも可能です。



・ChemStation の機能をユーザーごとに権限分け

OpenLAB Control Panel を使用し、ユーザーの登録、ログイン時のパスワードポリシーの設定、ユーザーごとに ChemStation の機能を制限するよう設定できます。

ロール	
名前	説明
すべて	すべての権限
システム管理者	ユーザーおよびセキュリティ設定の管理
プリンタの管理	
アクティビティログのプロパティの編集	
管理レポートの作成	
システムコンポーネントの管理	
セキュリティの管理	
機器コントローラの管理	
ロックされた UI をロック解除	
機器管理者	機器およびローケーションの管理
機器またはローケーションの表示	
機器またはローケーションの管理	
機器またはローケーションアクセスの管理	
機器の実行	
機器サービス	
プロジェクト管理者	プロジェクトおよびプロジェクトグループの管理
機器ユーザー	機器の表示とラン
ChemStation 管理者	ChemStation 管理者ロール
ChemStation ラボマネージャ	ChemStation ラボマネージャロール
ChemStation 分析者	ChemStation 分析者ロール
ChemStation オペレータ	ChemStation オペレータロール

・メソッドの変更履歴の詳細を記録できます

メソッドを変更した際、変更した履歴が残せます。

メソッド監査証跡		
日付	ユーザー	変更情報
2013/03/13 15:06:42	System	このメソッドの監査証跡のために、global enable flag を有効にしてください
2013/03/13 15:06:42	CDS User	メソッド保存。コメント: "test"
2013/03/13 15:06:28	CDS User	積分イベント: 初期イベント "ピーク幅" を "0.5" から "0.05" に変更 (シグナル "VWD デフォルト" について)
2013/03/13 15:06:39	CDS User	メソッド保存日時 2013/03/13 15:06:39 基になったメソッド C:\CHEM32\1\DATA\TEST1 2013-03-13 14:58...

・システム全体の監査証跡を記録できます

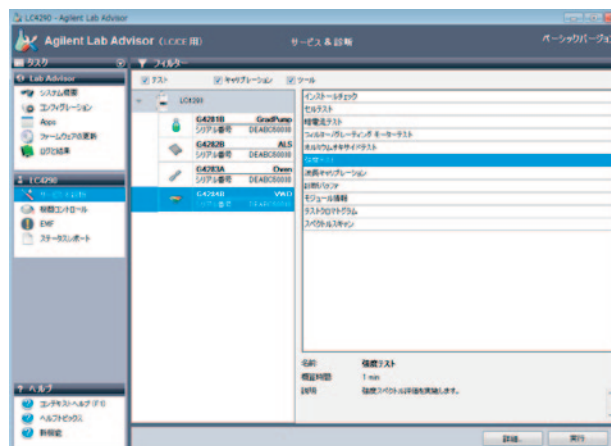
システムの起動時刻、ユーザーのログイン時刻、装置ごとの分析開始時刻等システム全体の運用履歴が記録されます。

OpenLAB CDS ChemStation の便利な機能

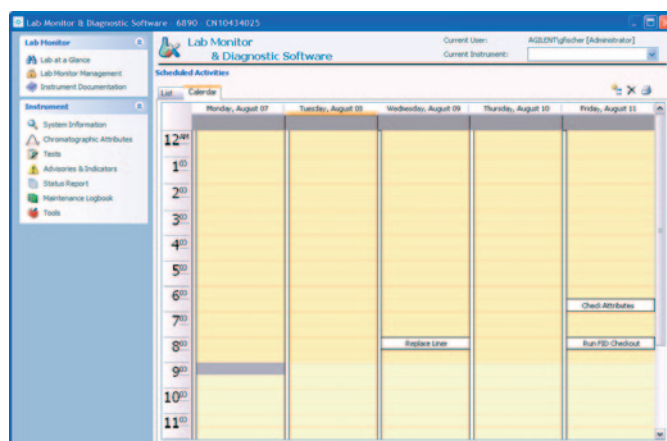
・ラボ診断ソフトウェア - Lab Advisor -

ラボ診断ソフトウェアである Lab Advisor はアジレントの LC、CE 分析装置を継続的にモニタリングすることで、消耗品交換時期のカウント、メンテナンスの必要性や装置の問題点等をリアルタイムでキャッチし、ラボにおける生産性の向上を実現します。

Lab Advisor は、日々の分析業務で分析装置の動作確認作業を行う際、簡単に装置の状態を確認することが出来ます。例えば、VWD、DAD のランプの強度テストなど、分析の前後で装置に異常がないかを確認することが出来ます。



また、アドバンスド版（有償）には、e-mail によるアラート送信機能や、Outlook 風のカレンダー機能があります。複数の装置を管理する際のスケジュール管理をサポートします。



GC、LC のオンライン画面上にメンテナンス画面が追加されました（左図は GC 用の画面）。メンテナンス画面に EMF (Early maintenance feedback) の機能が付属しています。セプタムやライナーなどの消耗交換部品のカウントを行います。



・メンテナンス ウィザード機能

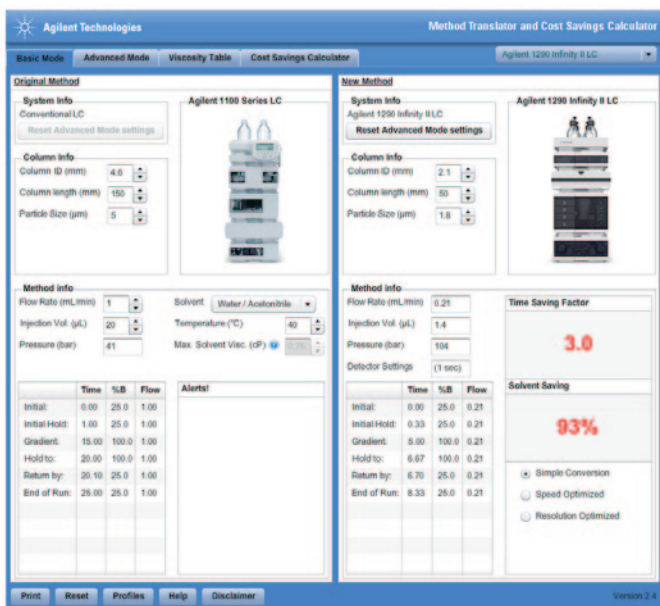
ご自身でメンテナンスを実施されるお客様のメンテナンス作業効率が大幅にアップします。メンテナンス手順を説明するビデオ、メンテナンスに必要な部品リストの出力、メンテナンス実行時の結果レポートの出力と PDF 化等、メンテナンス作業を手助けする様々な機能がふんだんに搭載されています。このソフトウェアがあれば、各モジュールのマニュアルを参照して部品を探すなどの煩わしさから開放されます。

OpenLAB CDS ChemStation の便利な機能

・メソッドトランスレータ

ご自身で GC や LC のパラメータ変更を行うことは容易ではありません。そこで OpenLAB CDS ChemStation では、簡単にパラメータ変更ができるメソッドトランスレータ機能を搭載しました。オリジナルのメソッドを入力して、高速分析用メソッドやガスの変更などを行うだけで簡単にパラメータの変更が可能です。また、パラメータ変更後の値をメソッドにアップロードし、そのまま分析を行うこともできます。

LC 版のメソッドトランスレータ画面



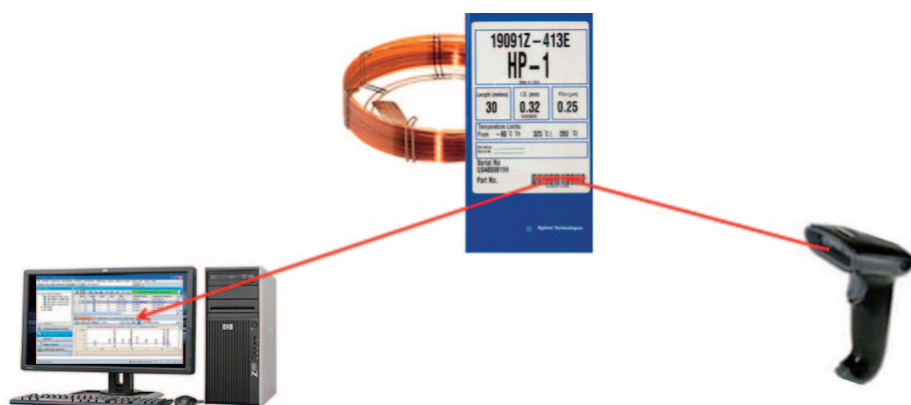
GC版のメソッドトランスレータ画面



・バーコードリーダーでシリアル管理

カラムやライナー、シリンジなどを管理するのは大変です。OpenLAB CDS ChemStation では、バーコードリーダーでカラムなどに記載されているバーコードを読み取るだけで OpenLAB CDS ChemStation にシリアル No. を簡単に追記することができます。

※別途バーコードリーダーが必要となります。
※この機能は GC のみとなっています。

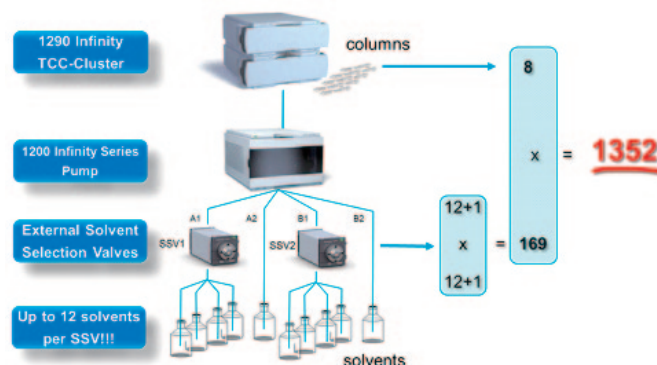


OpenLAB CDS ChemStation をパワーアップさせるオプションソフト

• Agilent メソッドスカウティングウィザードソフトウェア

Agilent メソッド開発システムと Agilent メソッドスカウティングウィザードソフトウェアにより、最大 1352 通りの溶媒とカラムの組み合わせを自動切換え可能。カラム平衡化も全自動で行い、より快適で簡単なメソッド開発を提供します。

※このソフトウェアは、LC、LC/MS のみ対応します。



• ChromSword 5 自動 LC メソッド開発ソフトウェア

Agilent 1290/1260 UHPLC を完全制御し、最適な分離条件を自動的に開発します。経験や試行錯誤によらず、各ピークの溶出挙動 (Retention Model) から最適な分離条件を短時間で開発します。日本国内で約 100 システム以上が稼働している、最もインテリジェントなメソッド開発システムです。
(対応モード: 逆相、順相、イオン交換、ミックスモード)

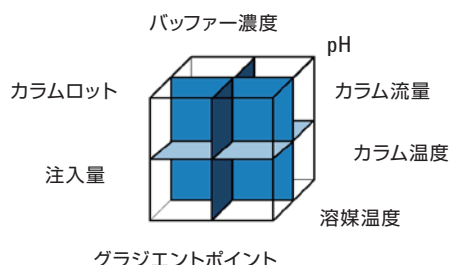
※このソフトウェアは、LC、LC/MS のみ対応します。



• AutoRobust メソッド頑健性自動評価ソフト

ICH および USP のガイドラインでは、頑健性を考慮した分析条件の作成が要求されています。AutoRobust は、わずか数ステップの簡単な設定で HPLC 条件を自動的に変更しながら、メソッド頑健性評価に必要な分析を行うことが可能です。

※このソフトウェアは、LC、LC/MS のみ対応します。



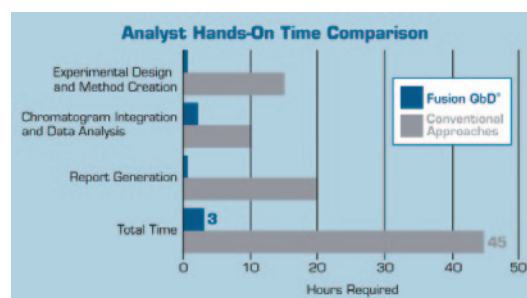
• Quality by Design に対応したメソッド開発ソフトウェア Fusion QbD

Quality by Design (QbD) ガイドライン機能をビルトインした Fusion QbD は、数学、統計学に基づいたスマートなメソッド開発を実現します。

Fusion QbD には下記の機能が標準搭載されています。

- 自動的な実験計画 (DoE)
 - 複数のスタディーパラメーターを柔軟に変動させる統計ベースの先進的なモデリング機能
 - 頑健性試験との統合
 - 完全な QbD レポート
 - HPLC からソフトウェアまでトータルサポート
 - CFR Part 11 コンプライアンス対応
- (対応モード: 逆相、順相、キラル、HILIC、イオン交換、サイズ排除分析)

※このソフトウェアは、LC、LC/MS のみ対応します。

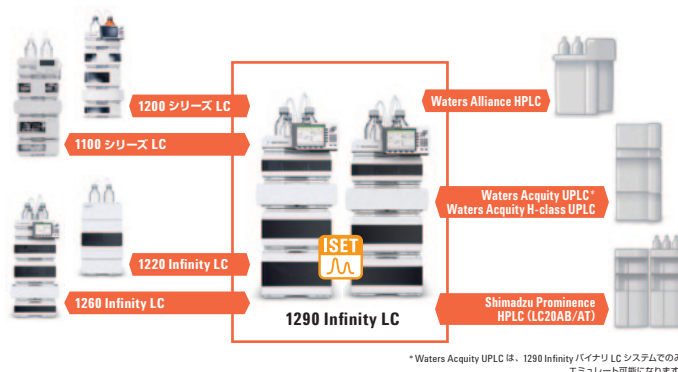


OpenLAB CDS ChemStation をパワーアップさせるオプションソフト

• Intelligent System Emulation Technology (ISET)

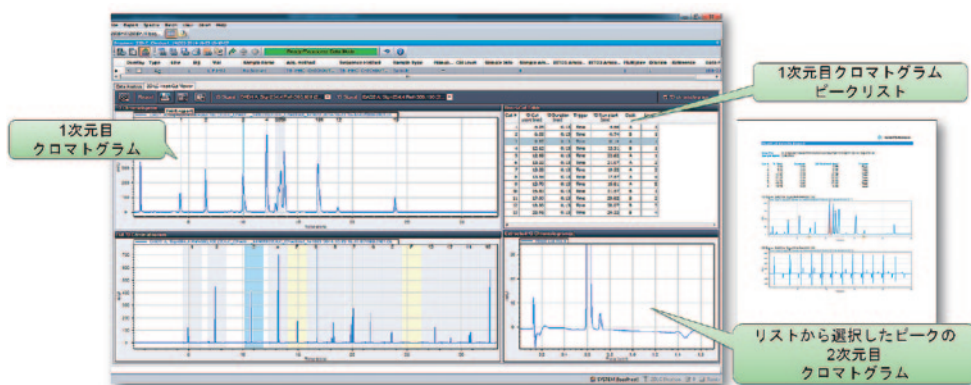
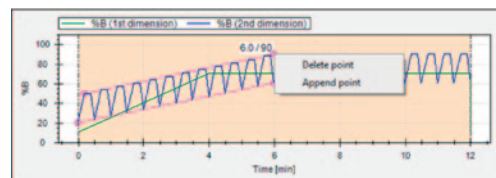
アジレントの ISET は、既存のコンベンショナル LC で開発したメソッドを、新規装置にそのまま移行して、同じクロマトグラムを再現します。既存 1100/1200 はもちろん、Waters 社製 LC (Alliance、UPLC)、島津製作所社製 LC のグラジエントプロファイルも 1290 UHPLC で再現し、メソッドを変更することなく同じクロマトグラムが得られる画期的なソリューションです。① UHPLC を HPLC モードにしてメソッド開発を行い、② late stage での技術移転を考慮し、ISET により他社 LC に Emulation してメソッド開発を行い、より頑健性の高い (分析移管を安心して行える) 分析法を構築することが可能です。

※このソフトウェアは、LC、LC/MS のみ対応します。



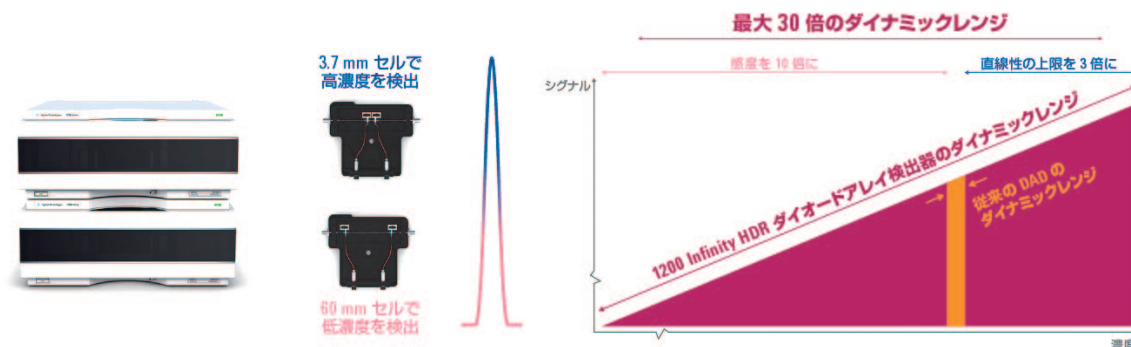
• Agilent 1290 Infinity 2D-LC ソフトウェア

従来の LC が持つ簡便さと、最新の 1290 Infinity 技術を融合させることにより、2D-LC による多成分試料の分析がさらに身近になりました。操作性を損なわない 2D-LC 専用ソフトを OpenLAB CDS ChemStation にアドオンすることで、複雑なグラジエント設定も迅速に行うことができ、誰でも簡単に二次元液体クロマトグラフィー分析を開始できます。



• Agilent 1200 Infinity High Dynamic Range DAD (HDR)

光路長の異なるセルを組み合わせることで、従来の約 30 倍のダイナミックレンジが実現します。高濃度成分と微量不純物を 1 回の注入で定量可能です。濃度差の大きい成分を 1 回の分析で同時に定量することにより、分析時間の短縮・装置稼働率の向上・溶媒消費量の削減に貢献します。

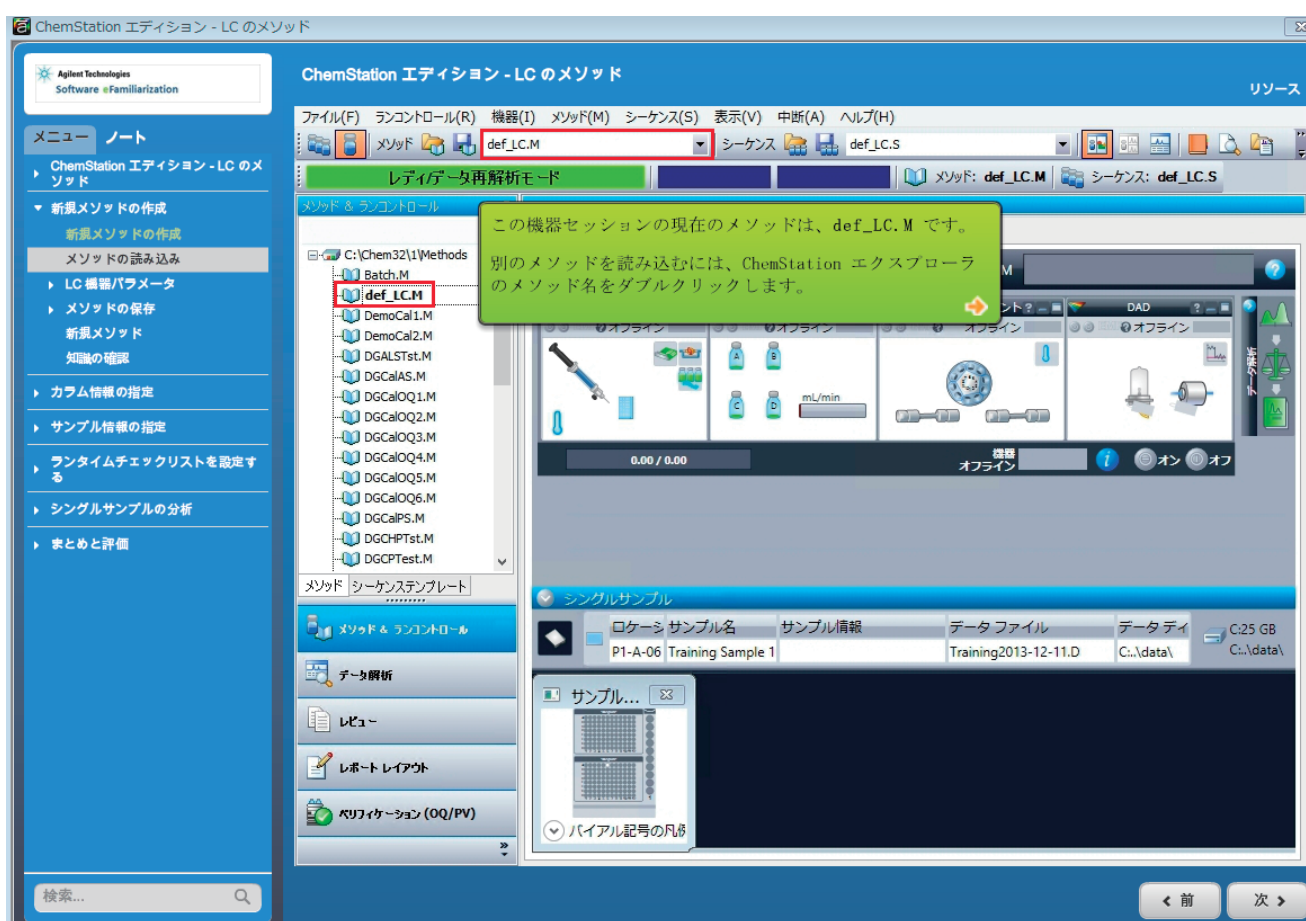


OpenLAB CDS ChemStation をより使いやすくするツール

• Agilent OpenLAB eFamiliarization

従来の紙のマニュアルとは異なり、パソコン上で見る電子マニュアルとなっています。PC 画面上で、メソッド作成操作などの目的に応じて、実際の OpenLAB CDS ChemStation の画面が表示され、必要な操作・メニューの位置等が順番に表示されます。

そのため、紙のマニュアルを読んでソフトウェアの操作を習得するより、実際の操作がイメージしやすく、基本的なソフトウェア操作の習得に必要な時間を短縮することが可能です。



OpenLAB CDS ChemStation をより使いやすくするツール

• PC1 台で規制対応 Secure Workstation for OpenLAB CDS ChemStation Edition

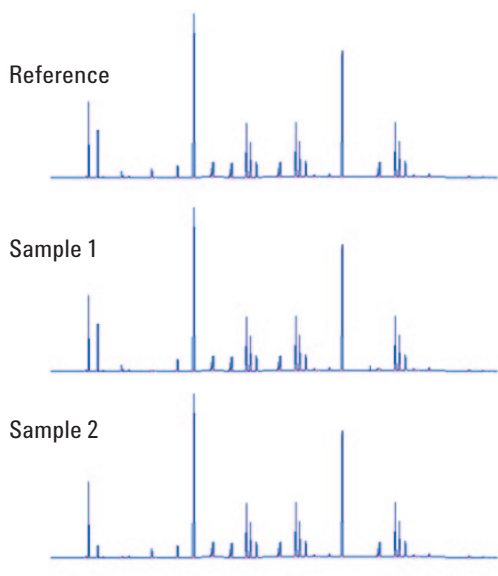
旧バージョンの ChemStation では、規制に対応するためには ChemStore が必要でした。さらに、データ解析などの操作をする上で 2 つのソフトウェア (ChemStation と ChemStore) を行き来する動作が多く、操作が煩雑でした。しかし、Secure Workstation for OpenLAB CDS ChemStation Edition を使用することで、スタンドアローンシステムでも CFR Part11 等の規制にフル対応し、データベース (Data Store) にシームレスにアクセスできます。また、分析・データ解析等の操作を 1 つのソフトウェア (OpenLAB CDS ChemStation) で実施可能です。



システムログインなどのセキュリティ、監査証跡 (Full audit trail)、電子署名はもちろん、マスターメソッドやシーケンス、レポートテンプレートを安全に保存でき、安心です。データは簡単に保存でき、容易に検索して探し出すことが可能となります。もちろん、日本語完全対応です。

• Match Compare

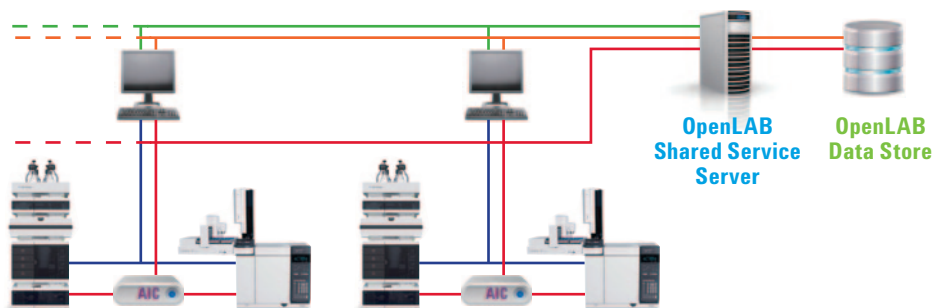
リファレンスとサンプルのクロマトグラムとの比較を行います。例えば先発医薬品と後発医薬品の比較 (似ている、似ていない) を、保持時間や面積などを考慮して定量的に行うことが可能です。



ネットワーク化に対応する OpenLAB 製品群

・分析装置のネットワーク接続

OpenLAB CDS は、単に装置をネットワークに接続するだけでなく、データ保存や装置へのアクセスなど全ての機能について、ローカル制御や集中管理などが選べます。ラボに要求されるニーズに応じて、OpenLAB CDS を自由に構成することが可能になります。



—：スタンドアロン、—+—：単純ネットワーク

—+—+—+—：集中保存型ネットワーク、—+—+—+—+—：完全分散型ネットワーク

・ネットワーク化を支えるアジレントの OpenLAB 製品群

OpenLAB ELN (電子ラボノート)



OpenLAB Data Store (データ集中管理)



OpenLAB ECM (データ管理システム)



自動データ取り込み・自動転送

OpenLAB CDS (クロマトデータシステム)

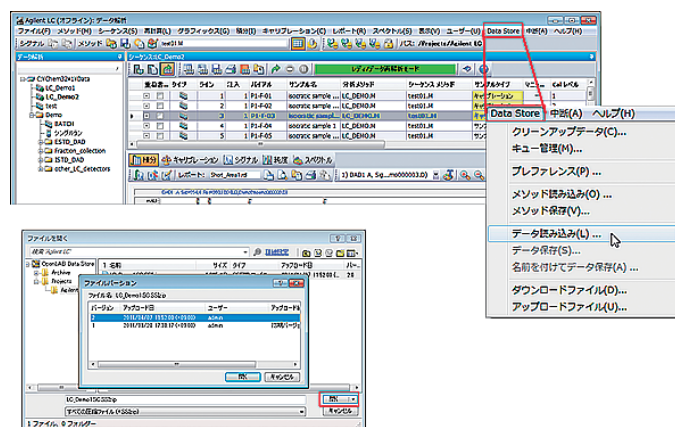


データの取り込み・解析

・ OpenLAB Data Store

クライアント/ サーバシステム Agilent OpenLAB Data Store への拡張がシームレスで実施可能です。Data Store では、クロマトグラムやスペクトルなどの分析装置生データ、解析結果等の全ての電子記録を関連付けデータとして管理することができ、電子記録規制に対応可能です。

DataStore (データベース) に保存されている分析データ、メソッドなどにアクセスする操作は、全て ChemStation の画面から行います。さらに、DataStore に保存されている異なったバージョンの分析結果の呼び出しも簡単に行えます。



ネットワーク化に対応する OpenLAB 製品群

• OpenLAB ELN

OpenLAB ELN は Web ベースの電子ラボノートで、知的財産を保護しながらデータ取込みを自動化し、結果を整理して、科学的な結果や研究成果の検索と共有を促進します。そのため、組織内でのコミュニケーション改善や、様々な役割を持つチーム間のデータの流れを高速化し、共有するための有効なツールとなっています。業界特有のワークフローにも対応できるため、様々な研究分野で活用できます。例えば、食品媒介病原菌、毒物学、分子イメージング、合成生物学、Integrated Biology など様々な分野にまたがり、科学者、研究者、開発者、技術者、およびラボマネージャがラボ全体で情報を収集し、それらを管理、共有することができます。

電子ラボノート (ELN) のワークフロー

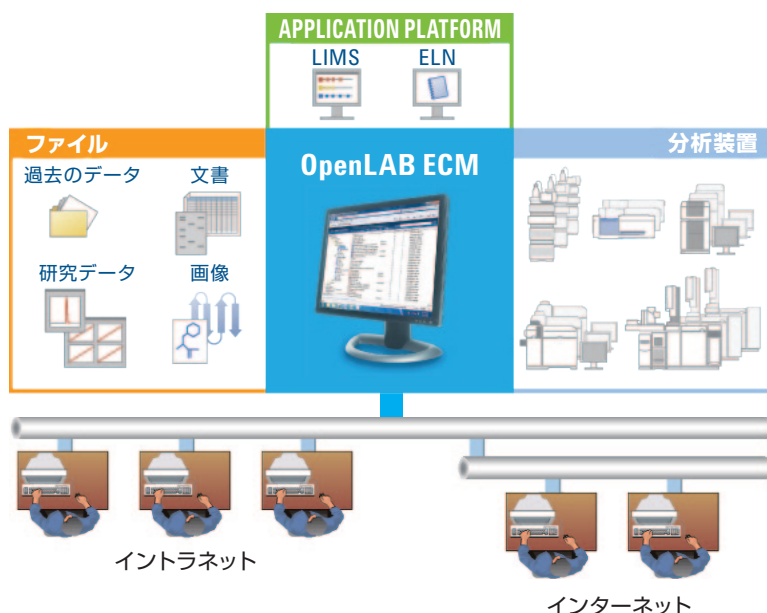


OpenLAB ELN で可能になること

- ・あらゆるタイプの分析装置データの取り込み
- ・データ検索の簡略化と高速化
- ・複数のラボや国をまたいだチームの連携
- ・オーディットトレイル (監査証跡) 機能とIP (知的財産) 保護
- ・科学データ管理システムとの統合
- ・クライアントのプラットフォームを選ばない

• OpenLAB ECM

OpenLAB ECM は、全ての分析装置の電子データを一括で管理するネットワークシステムです。アジレントの分析装置のデータはもちろん、アジレント以外の分析装置のデータにも対応し、管理します。大量に保存されたデータでも簡単にデータベース検索、電子記録規制対応データ管理、保存データのレポート出力を行います。OpenLAB ECM は、GC、LC、MS、IR など様々な分析装置のデータを保存します。また、それらの保存先も自由に設定および変更できます。操作も非常に簡単で、データの管理も自動で行えます。オリジナルの分析装置コントロールやワークステーションの操作へ与える影響を抑えつつ、データのトレーサビリティが改善されます。



主な特長と利点

特長

- ・ファイルのインデックス化および保存を自動化
- ・安全な集中型のコンテンツ管理
- ・ラボ全体規模での簡単なレポート作成
- ・PDF レポートの補足
- ・パワフルな検索機能
- ・他社MS のデータもサポート
- ・電子記録規制にも対応したセキュリティ機能

利点

- ・データと情報をすぐに利用可能
- ・データのライフサイクル全体にわたって安全なファイル管理を実現
- ・規制コンプライアンスの取り組みや知的財産管理をサポート
- ・データ処理およびレポート作成の時間を短縮
- ・紙の使用量を削減

OpenLAB CDS ChemStation 以前のバージョンとの比較

	ChemStation A バージョン	ChemStation B.02.01～	ChemStation B.04.01～	ChemStation C.01.06～C.01.07
32 bit / 64 bit 対応	×	○	○	○
新しいデータ管理コンセプト (データとメソッドの関連付け)	×	○	○	○
ロングファイル名対応 (8 文字以上)	×	○	○	○
Lab-at-a-glance	×	×	×	○
RC.Net ドライバ対応	×	×	○ (B.04.02～)	○
新しい積分パラメータ	×	○	○	○
マニュアル積分イベントのデータ保存	×	×	○	○
シーケンステーブル表示項目選択	×	○	○	○
シーケンスキュー (シーケンスの連結)	×	×	×	○
シーケンスデータをまとめて解析	○	○	○	○
レポートの PDF 出力	×	×	○	○
インテリジェントレポート機能	×	×	×	○
新 Data Analysis ソフトウェア	×	×	×	○
メソッドスカウティング	×	×	○ (B.04.02～)	○
Data Store サポート	×	×	×	○
Secure Workstation for OpenLAB CDS ChemStation	×	×	×	○
eFamiliarization	×	×	×	○

OpenLAB CDS ChemStation エディション PC 推奨スペック

<OS>

- ・ Windows 7 Professional (64 bit/32 bit)
または Windows 8 Professional (64 bit)

<PC、LCD、Printer>

- ・ HP Z230 SFF Intel® Xeon E3 - 1225 v3 - 3.2 GHz 8 MB 4C (Quad Cores)
- ・ 4 GB DDRAM またはそれ以上
- ・ ハードディスク 500 GB 以上
- ・ CD-RW/DVD ドライブ
- ・ 10/100 Base LAN
- ・ HP 20 inch Flat Panel Monitor (1440 × 900、ワイドスクリーン以上)
- ・ Laser Printer (日本語環境：キャノン、英語環境：HP)

詳しくはアジレントまたはアジレントの販売店までお問い合わせください。

アジレント・テクノロジー株式会社

本社 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1
カスタムコンタクトセンタ ☎0120-477-111
email_japan@agilent.com
www.agilent.com/chem/jp
©アジレント・テクノロジー 2015
Printed in Japan. July 1, 2015
5991-5960JAJP

